

酸性雨ってなんだろう

酸性雨の被害と発生するメカニズムを実験装置により体験し、大気汚染などの原因が私たちの生活と密接に関係していることや具体的な対策を考えます。

対象（学年）：小学生
人数：クラス単位
実施場所：教室、屋内
所要時間：1時限

内容

1. いま地球規模で木が枯れたり、海の珊瑚礁や魚が死滅したり、自然や生態系に変化が起きている現状を写真を通して知ってもらいます。また身近なところでは、学校の校舎や銅像の浸食が進んでいる事例も見ながら、その原因が酸性雨であることに気づいてもらいます。そして、酸性雨が大気中の汚染物質や二酸化炭素が雨に溶け込んで発生しているメカニズムと、私たちの生活が密接に関わっていることを知ってもらいます。
2. 雨水は純水に二酸化炭素が溶け込むことで酸性になるかを、ペットボトルに水を入れ、そのpHを試薬を用いて測定し、中性（pH 7）であることを確認した後、ペットボトルに二酸化炭素のスプレーを吹きかけて、蓋をして振り、容器内の水のpHの値（色の変化）をみんなで観察して、容器の変化や容器内の水の変化を実際に体験します。
3. 最後に地球に見立てた水槽を用いて、その中に水蒸気を吹き込みながら氷水で凝縮した水滴のpHと、その中でマッチを燃やした後の水滴とのpHを比較することで、酸性雨の発生を擬似的に体験します。この実験を通して、酸性雨が私たちの生活と密接に関係していることを知ってもらい、自分たちに出来ることをみんなで考えます。

講師 NPO法人 ひらかた環境ネットワーク会議
連絡先 NPO法人 ひらかた環境ネットワーク会議
TEL 072-847-2286 FAX 072-807-7873
E-Mail jimukyoku@hirakata-kankyou.net

